

外部評価委員会 市民評価員アンケート結果(延べ)

市民評価員の属性

1)性別

	人数	割合
男性	14	87.5%
女性	2	12.5%
合計	16	100.0%

2)年齢別

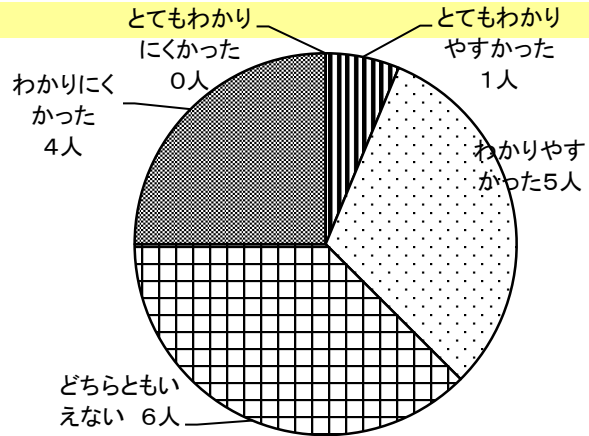
	人数	割合
20歳代	1	6.3%
30歳代	0	0.0%
40歳代	2	12.5%
50歳代	5	31.3%
60歳代	8	50.0%
70歳代	0	0.0%
合計	16	100%

3)地区別

	人数	割合
撫養町	5	31.3%
里浦町	0	0.0%
鳴門町	5	31.3%
大津町	0	0.0%
瀬戸町	1	6.3%
大麻町	5	31.3%
北灘町	0	0.0%
合計	16	100.0%

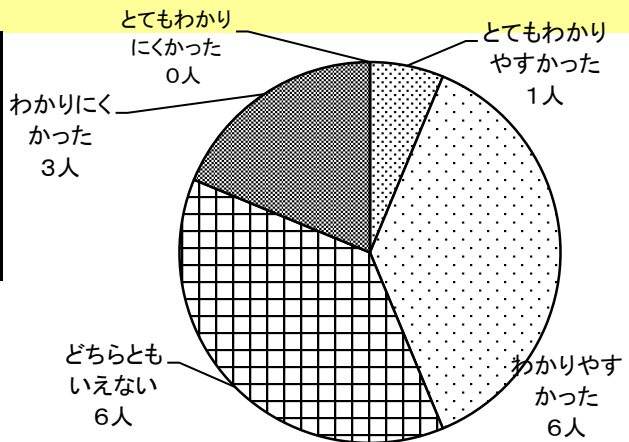
Q1 職員(説明者)の説明について

	人数	割合
とてもわかりやすかった	1	6.3%
わかりやすかった	5	31.3%
どちらともいえない	6	37.5%
わかりにくかった	4	25.0%
とてもわかりにくかった	0	0.0%
合計	16	100.0%



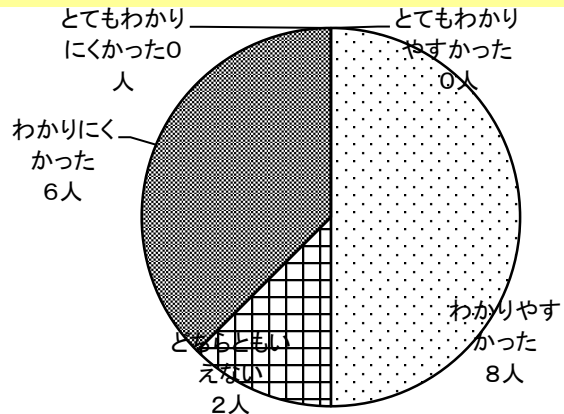
Q2 評価者(委員)の質疑ややりとりについて

	人数	割合
とてもわかりやすかった	1	6.3%
わかりやすかった	6	37.5%
どちらともいえない	6	37.5%
わかりにくかった	3	18.8%
とてもわかりにくかった	0	0.0%
合計	16	100.0%



Q3 外部評価委員会に用いた資料等について

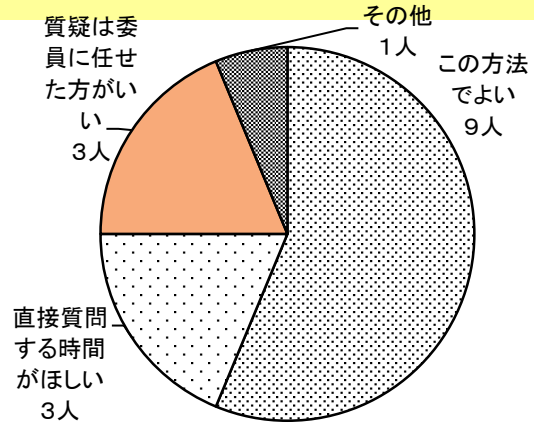
	人数	割合
とてもわかりやすかった	0	0.0%
わかりやすかった	8	50.0%
どちらともいえない	2	12.5%
わかりにくかった	6	37.5%
とてもわかりにくかった	0	0.0%
合計	16	100.0%



外部評価委員会 市民評価員アンケート結果(延べ)

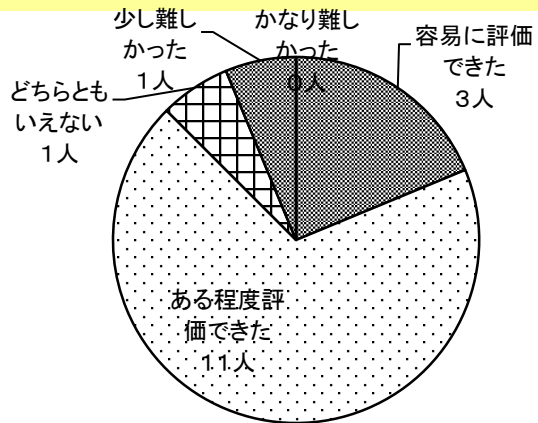
Q4 質問カードについて

	人数	割合
この方法でよい	9	56.3%
直接質問する時間がほしい	3	18.8%
質疑は委員に任せた方がよい	3	18.8%
その他	1	6.3%
合計	16	100.0%



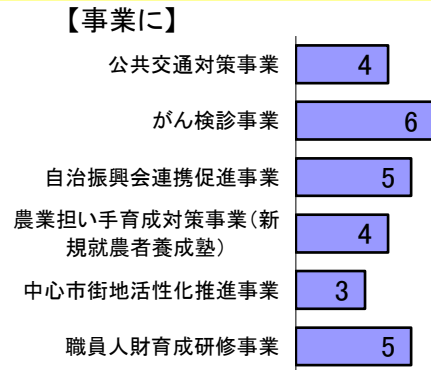
Q5 評価について

	人数	割合
容易に評価できた	3	18.8%
ある程度評価できた	11	68.8%
どちらともいえない	1	6.3%
少し難しかった	1	6.3%
かなり難しかった	0	0.0%
合計	16	100.0%



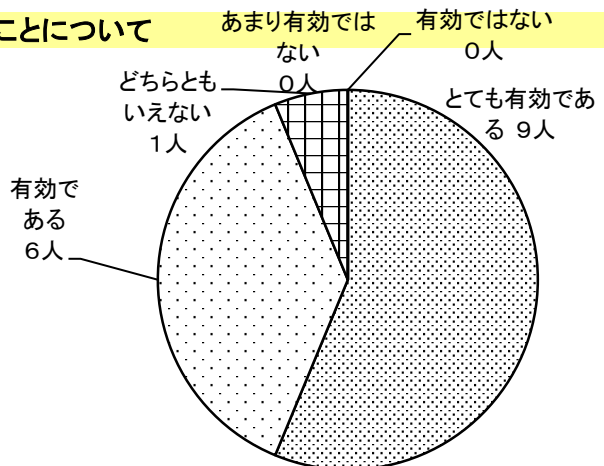
Q6 関心を持った事業について(複数回答)

	人数	割合
公共交通対策事業	4	14.8%
がん検診事業	6	22.2%
自治振興会連携促進事業	5	18.5%
農業担い手育成対策事業(新規就農者養成塾)	4	14.8%
中心市街地活性化推進事業	3	11.1%
職員人財育成研修事業	5	18.5%



Q7 外部評価委員会により、市の事業を見直すことについて

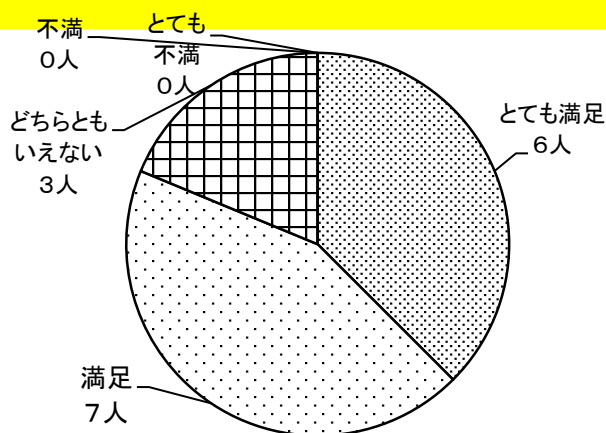
	人数	割合
とても有効である	9	56.3%
有効である	6	37.5%
どちらともいえない	1	6.3%
あまり有効ではない	0	0.0%
有効ではない	0	0.0%
合計	16	100.0%



外部評価委員会 市民評価員アンケート結果(延べ)

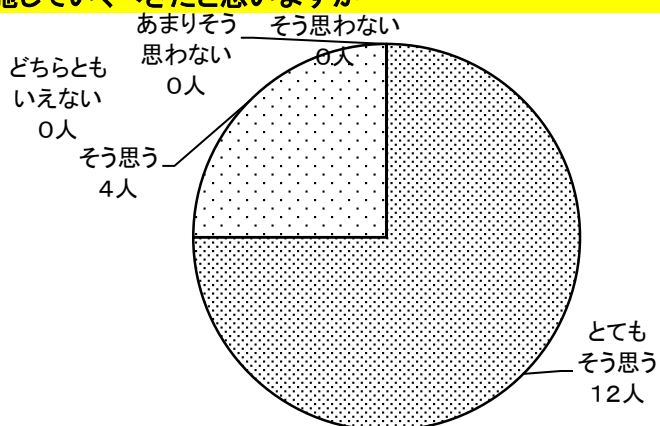
Q8 市民評価員として参加してどうでしたか

	人数	割合
とても満足	6	37.5%
満足	7	43.8%
どちらともいえない	3	18.8%
不満	0	0.0%
とても不満	0	0.0%
合計	16	100.0%



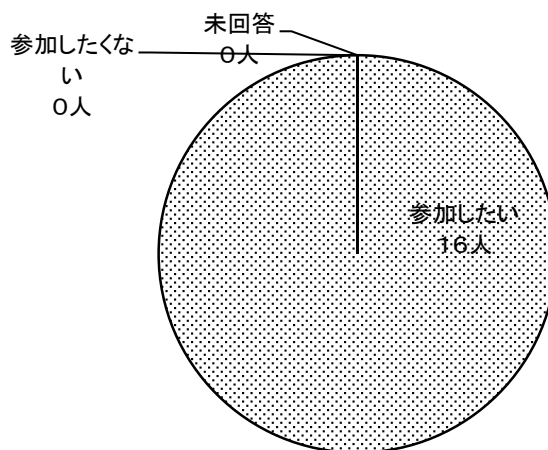
Q9 外部評価委員会を今後も継続して実施していくべきだと思いますか

	人数	割合
とてもそう思う	12	75.0%
そう思う	4	25.0%
どちらともいえない	0	0.0%
あまりそう思わない	0	0.0%
そう思わない	0	0.0%
合計	16	100.0%



Q10 今後機会があれば、市民評価員としてまた参加したいですか

	人数	割合
参加したい	16	100.0%
参加したくない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	16	100.0%



外部評価委員会 市民評価員アンケート結果(延べ)

Q11 外部評価委員会全体を通して、気づいた点や意見等(自由記入)

(21日の意見)

- ・PDCAのマネージメントサイクルで資料を作成しているが、年度途中でのアクションはおかしい。
- ・女性・若い人の評価員を増やすべきである。
- ・外部評価委員の半数が鳴門市居住年数10年以上が要件。

(27日の意見)

- ・外部評価委員に専門的知識を持った県職員等からの事前質問に対する回答を配付する等、時間を有効に活用すべきである。
- ・次年度の外部評価委員会では、今年度要改善となった事業の改善報告をすることが重要である。
- ・女性の市民評価員を半数確保できるように努力をお願いしたい。
- ・外部評価の対象事業が予算の少ない事業に偏っているのではないのか。
- ・土木、建築、人事の担当課を毎回外部評価すべきである。